

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style [ ビズスタ神奈川 ]

# 2015 11

特別版

『Biz Life Style』は東京、神奈川、関西、京都・滋賀、仙台、福岡にて45万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2015 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

## CAN'T BUY CROWN IN PARIS.



2.0アスリートS-T

ボディカラーの天空(ソラ)(8Y1)と内装色の白はメーカーパッケージオプションのジャパンカラーセレクションパッケージ。オプション装着車。

日本を代表する名車は数あれど、これほどその称号が似合う車種は他にないだろう。1955年にデビューし、そのまま日本のモータリゼーションを牽引した正統派高級セダン、トヨタクラウン。開発がスタートしたのは1950年のことなので、発売までにまる3年もの時間を費やした計算になるが、そこには確固たる理由があった。

初代クラウンの誕生当時、日本はまだ海外メーカーの協力を得ながらクルマを造っていた。「日本人の手で国産乗用車を生み出したい」という欲求が生まれるのは当然のことだ。トヨタの場合、それは創業以来の理念でもあった。

終戦直後の混乱期を乗り越えて、再び日本独自の「職人魂」に火がついた時代。デザインと機能、そして操作性。すべてにおいて「日本人の感性にフィットしたクルマ」を。純国産の高級車づくりに対する情熱には多数の協力者も集まり、気が遠くなるような努力を費やして初代モデルを完成。その後、「いつかはクラウン」というキャッチコピーが定着した通り、トヨタの挑戦は人々の希望と憧れを形成するにまで至った。

世界の名車たちに「気に追いつく成果もさることながら、最も感銘を受けるのは、それ以来クラウンは国内の工場でのみ生産されている」という事実だ。海外生産を行わず、徹底した「ジャパニーズオンリー」を貫く姿勢は、現在のトヨタに集まる信頼へとつながっている。

クルマに詳しい方ならご存知だろうが、クラウンは「日本初」や「世界初」の栄誉に輝く技術が必ず搭載されるクルマでもある。世界初の技術だけでもオーバードライブ付き4速AT、歩行者傷害軽減ボディ構造、ドライバードライバーモニター付きブリックラッシュセンサー、ティンシステム...などなど、数え上げれば紙面が尽きてしまうほどの数に達する。

スタイリングだけ見ると王道を極めた印象だが、そのボディの下には絶え間ない挑戦と革新の歴史が詰まっている。しかも、それが私たち日本人のためだけに造られたものであることを考えれば、これほど「マイドイ



初代クラウン

ンジャパンの文字が似つかわしい車種もないだろう。

さて、そのクラウンは今年で60周年を迎えた。この3月には、これを記念する特別仕様車が発表されたのは記憶に新しいところだが、この秋、さらなる朗報が届いた。マイナーチェンジ、いやビッグマイナーチェンジと呼ばれるに相応しい新モデルが、「アスリート」と「ロイヤル」の両ラインからデビューを飾ったのだ。

キャッチコピーは「CAN'T BUY CROWN IN PARIS」。日本でしか買えない日本のクルマであることを強調したTVCMは、言うまでもなく、単なる購入場所の話をしてはいるわけではない。

日本の道には、日本のクルマがよく似合う。それを身をもって証明し、日本のクルマ社会の発展にまで多大な影響を与えた名車の最新モデルは、何がどう変わったのか。今回は、新型クラウンの魅力について、簡単に俯瞰してみたい。

日本伝統の和色を思わせる、美しすぎるカラーリングも！ 新型クラウンの魅力の中面で特集！



My Favorite Life Style

CROWN  
"Royal" SERIES



Hybrid ロイヤルルーング 車両本体価格5,690,000円(税込)  
ボディカラーのホワイトパールクリスタルシャインはメーカーオプション、オプション装着車。



2.0アスリートS-T 車両本体価格4,500,000円(税込)  
ボディカラーの天空(ソラ) (8Y1)と内装色の白はメーカーパッケージオプションのジャパンカラーセレクションパッケージ、オプション装着車。

CROWN  
"ATHLETE" SERIES



高接合剛性ボディと「いなしサスペンション」の2つの相乗効果が生む、優れた走行安定性と乗り心地。

軽に入れる取り回しに我々には驚く。「これ、日本のクラウンの真骨頂なのだ。走行性能の面では又のつけあがりな出来であることが確認できた。今回のビッグマイナーチェンジではアスリート、ロイヤルともに、メインインジヤパンの誇りを感じさせてくれる、オートマレクションが施されている。写真を撮るに難いのはお分かりの通り、アスリートはクッと精神を集中した印象。ラッシュアリアカーのステイタスを感じることがなく、スポーツやダイナミックなイメージが強化されたという感じがする。一方のロイヤルは、フロントサルの精緻な造り込みが目を引く。さらに重厚感を増したフェイスは、品格を重んじる上層階級層を直撃するであろう。

身ごとく王道感に満ちたクラウンは、かもしないが、実はモデルチェンジのたびにチャレンジ的なデザインを採用してきた車種でもある。特にフロントフェイスは大きな変貌を遂げたのだが、それでも「クラウン」の魂は、ハンナナチャー感がたまりない。

あの履きだらねられない王道は、行きかたは威厳と風格を感じずにはいられないが、実は「クラウン」の魂は、ハンナナチャー感がたまりない。



これまでの「ターボ」のイメージを覆す、なめらかな加速を手に入れたダウンサイジング・ターボエンジン。

表紙で触れた通り、今年で60周年を迎えたトヨタクラウン。もしも街角に若草色、あるいは水色の斬新なカラーのクラウンを見かけたらそれは今に登場した特別仕様車だ。あれほどのラジエーターカラーが遊び心と茶目っぽさに満ちたカラーリングを採用したことは驚かされたが、昨年にはまるでスポーツカーのような、ピンクのクラウンを発売した前例もある。特に、ユーモアを解するアラフォー世代のエグゼクティブ層の間では大きな話題を呼んだ。

### 日本の道路事情を知り尽くした日本だけのプレミアムセダンとして

上がりと言ってきた。60年の長きに渡り、黙々と国内専用車としての進化を続けてきたクラウンだが、今回さらには「日本を強く意識し、日本の道での使用感にこだわったモデル」となっている。今回新されたのは、「アスリート」と「ロイヤル」の両モデルだ。最初に、ドライビングパフォーマンスの面から眺めてみると、まずアスリートには、2リッターの直4ターボエンジンが新たに搭載された。これは、日本の道路事情を考慮し、日常の取り回しに考慮されたものだ。

### Biz Life Style Pick up >>> 世界に誇る「和色」の精神を、なんとボディカラーで再現！ ジャパンカラーセレクションパッケージ



紅(クレンアイ) 灰(ホノカ) 茜色(アカネイロ) 白夜(ビヤクヤ) 翡翠(ヒスイ) 常盤色(トキワロ) 天空(ソラ) 群青(グンジョウ) 紺碧(アオ) 胡桃(クルミ) 黒曜(コクヨウ) 日光(ビヤクヨウ)

とにかく、まずはうっとりとお覧いただきたい。今回のビッグマイナーチェンジに伴いアスリートに用意されたメーカーパッケージオプション、専用のカラーセレクションだ。



美しすぎる塗装を守るトヨタの独自技術「セルフリストアリングコート」  
圧倒的な美しさを誇るジャパンカラーセレクション。丹精込めて塗装してくれた職人さんの技術の恩恵を「どこかに擦りにはしないか」とビクビクしそうで、気軽に洗車もできないのでは...という不安は不要だ。



Hybrid アスリートS  
ボディカラーの紺碧(アオ) (8X8)と内装色の白はメーカーパッケージオプションのジャパンカラーセレクションパッケージ、レザーシートパッケージはメーカーパッケージオプション。



My Favorite Life Style



2.5ロイヤルサルーン  
ボディカラーはブラック(202)。オプション装着車。



## 全店で試乗車がスタンバイ! 新型クラウンの体験は お近くの神奈川トヨタで。

見れば見るほど、知れば知るほど期待感が高まる新型クラウン。ご覧の通り、近年のトヨタ車のポイントである環境性能や安全性能などに触れる余裕もないほどなので、続きはぜひショールームをご覧ください。

神奈川県内で新車のクラウンを購入できるのは、神奈川トヨタの系列店のみとなっている。と言っても、神奈川県内に75店舗、新車営業店は46店舗も展開しているので、ご自宅の近くにもきっとアクセス便利な店が見つかるだろう。

各ショールームには、当然のことながらクラウンを熟知したスタッフが在籍している。今回の新型クラウンがどう変わったのかについて、メーカー目線だけでなくドライバーの視点からも詳しく紹介してくれるので、訪問時はまず軽くレクチャーを受けると良いだろう。知りたいポイントについてはなんでも質問して、ある程度の基礎知識をつけてから試乗に臨もう。ちなみに、試乗車はショールーム全店で用意されているので安心だ。

ターボエンジンの出力性能や静粛性はどうか、小回りが効いて取り回しやすいというのは本当か、日本人の体型と美意識にフィットするインテリアは外国車とどう違うのか。本紙で紹介した内容も含め、ぜひご体験を。

なお、現在、神奈川トヨタでは下記の日程でプレゼントキャンペーンを実施中。もちろん、新型クラウンの発売を記念するイベントなので、まさにベストタイミングだ。

ちなみに、神奈川トヨタ自身も創業75年を超える老舗中の老舗なので、最適なモデル探しの良きパートナーとなってくれるはずだ。お近くのショールームの場所については、フリーダイヤルかホームページにて、この週末、ぜひ家族でお出かけを。

Biz Life Style Pick up

》》》 こちらは76年目、神奈川県を代表する老舗ディーラー



神奈川トヨタは、神奈川県下初の自動車ディーラーとして1939年に創業。以来、75年にわたり神奈川県民に愛されてきた老舗中の老舗で、トヨタ自動車とともにアグレッシブな取り組みを展開してきた。1960年代にJAFに先駆けて実施したロードサービス、あるいは1970年代に全国で初めて発売した特別仕様車などは有名だ。

こうした積極的なサービスの背景には、単なる「くるま屋」ではなく「くるま生活屋」でありたいという強い理念がある。例えば、ハイブリッドカーを安心して運転できるように専門知識と技術を有したスペシャリストを全店に配置したり、同じく全店に介助専門士の認定を受けたスタッフを配置するなど、購入や整備・修理といった従来型のサービスを超越する対応が魅力。提案力も強力なので、まずは何でも相談してみたい。

ビズスタ特典

ショールームにご来店頂いたお客様に、

クラウン60周年  
静電気除去グッズを  
プレゼント!!



※本誌を見た旨をスタッフにお伝えください。  
※1組様につき1つに限らせて頂きます。  
※商品がなくなり次第終了とさせていただきます。